

## 施設状況票【病院（医療法人等）】記入要領

施設状況票では、施設の概要、利用者の利用状況、職種別の従事者の状況等について、ご報告いただきます。

施設状況票のExcelファイルはマクロを含んでいますので、初めに**マクロを有効化**してご使用ください。

入力前に「**施設状況票入力にあたってのお願い**」（赤枠①）の内容をご確認ください。また、設問ごとに入力セルの横や項目名の横に注釈（赤枠②）を記載していますので、併せてご参照ください。

**施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。**薄いオレンジ色のセルが入力可能なセルです。また、セルのコピーアンドペースト（貼り付け）を使用するとファイルが使用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

### 1. 基本情報

#### 【土地・建物の所有状況】

施設・事業を行っている専有部分の所有状況を選択してください。

#### 【公有地等の状況】

土地（建物）の一部に公有地（公設の建物）を含む場合は「1」を入力してください。

### 2. 利用状況

#### 【入院】

区分（医療法第7条に基づく病床の種別（一般病床、療養病床、精神病床、結核病床、感染症病床））ごとに入力してください。（赤枠③）

#### 【病床数（期首）】

病床数の変更に関わらず、期首の病床数を入力してください。

#### 【会計期間内の病床数の変更】

会計期間内に変更があった場合は「1」を入力し、**【変更時期（西暦）】**、**【変更後病床数（期末）】**を入力してください。

#### 【変更後病床数（期末）】

病床数の変更に関わらず、期末の病床数を入力してください。

#### 【在院患者延数（年間）】

会計期間内の入院料ごとに、診療報酬請求の元となった人数を入力してください。

#### 【新入院患者数】・【退院患者数】・【転床患者数】

年間の実人数を入力してください。また、合計欄は後述する**【基本診療科別の内訳】**、**【入退院経路の状況】**の内容と一致します。入院してその日のうちに退院した患者も含みます。

**【転床患者数】**については、同一医療機関内で区分が変わる患者数を入力してください。同じ区分内の移動は、**【転床患者数】**に含めません。

## 【入力例】

### 医療施設（病院）施設状況票（医療法人等）

法人名 (個人事業主の場合は氏名)	神谷町福祉会	年度	顧客コード	拠点コード	施設票番号
		2021	99999	001	001

**I-A①**

- ① **施設状況票入力にあたってのお願い**
- 施設の状況をご確認の上、入力欄（太枠内）を入力してください。また、入力されている内容が誤っている場合は修正してください。
  - 各項目の記入にあたり、指定がない場合は、会計期間末日の状況をご記入ください。
  - 一つの建物で複数の事業を行っている場合など、事業ごとに按分が必要な場合は各事業で調整してください。また、同じ職員が複数事業で勤務している場合などは、勤務時間や人件費等で従事者数を按分してください。
  - 患者数について、指定がない場合は実人数ではなく延人数（患者1名が2日入院した場合や2回外来を受けた場合は2人）で入力してください。

作成担当者	福祉 花子	電話番号	03-3438-0000	※14桁以内の半角数字とハイフンで入力してください。	FAX番号 (任意)	03-3438-0000
-------	-------	------	--------------	----------------------------	---------------	--------------

#### 1. 基本情報

施設名	神谷町病院										医療機関等 コード					
施設の所在地	郵便番号	150-8486		※3桁の半角数字とハイフンと4桁の半角数字の郵便番号を入力してください。(例:105-8486)												
	住 所	東京都港区虎ノ門4-3-13														
開設年月日	西暦	1980	年	1	月	1	日	指定管理者の指定			※行政から指定管理者として指定を受けて施設を運営している場合は「1」を入力してください。					
土地・建物の所有状況	※次の選択肢1〜4からお選びください。(選択肢:[1] 法人所有 [2] 全て賃借(借地) [3] 一部賃借(借地) [4] その他)															
	土地の所有状況	1	建物の所有状況						1							
公有地等の状況	※土地(建物)の一部に公有地(公設の建物)を含む場合は「1」を入力してください。															
	公有地の有無		公設の建物有無													
建物の延床面積	13,200㎡		※一つの建物で複数の事業を行っている場合は当該事業に使用している面積を入力してください。													
全面建替の竣工時期	西暦	2003	年	10	月	※開設から全面建替を行っていない場合は空欄にしてください。 また、複数回行われている場合は直近の竣工時期を記入してください。										
会計期間	西暦	2021	年	4	月	1	日	～	西暦	2022	年	3	月	31	日	※この施設状況票が報告する会計期間を入力してください。

#### 2. 利用状況

【入院】 ※【入院】における「変更後病床数(期末)」、「在院患者延数(年間)」、「新入院(年間)」、「退院(年間)」の合計欄は、【基本診療科別の内訳】における「病床数」、「入院基本料等別在院患者延数(年間)」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数										入院患者数													
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内 の病床数の 変更 (0:無 1:有)	変更時期(西暦) 会計期間内の変更が 「1:有」の場合のみ入力			変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)											
				新入院患者数	転床患者数	退院患者数					転床患者数													
一般	150	床				月	150	床	54,750	床	45,555	人	83.2%	2,185	人	18	人	2,029	人	161	人			
療養	100	床	20	床	1	2021	年	7	月	90	床	33,760	床	29,333	人	86.9%	5	人	161	人	150	人	15	人
精神		床		床			年		月		床	0	床		人	0.0%		人		人		人		人
結核		床		床			年		月		床	0	床		人	0.0%		人		人		人		人
感染症		床		床			年		月		床	0	床		人	0.0%		人		人		人		人
合計	250	床	20	床							240	床	88,510	床	74,888	人			2,369	人			2,355	人

【基本診療料別の内訳】

【入院】にて入力いただいた内容の詳細を【基本診療料別の内訳】に入力します。

【入院】における各区分の[変更後病床数（期末）]、[在院患者延数（年間）]、[新入院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数、[退院患者数]と[転床患者数]を合わせた人数が【基本診療料別の内訳】における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数（年間）]、[新入院・転床患者数（実人数）]、[退院・転床患者数（実人数）]の小計と一致するように入力してください。  
（青枠）

また、【入院】における[変更後病床数（期末）]、[在院患者延数（年間）]、[新入院（年間実人数）]、[退院（年間実人数）]の合計が、【基本診療料別の内訳】における[病床数]、[入院基本料等別在院患者延数（年間）]、[新入院・転床患者数（実人数）]、[退院・転床患者数（実人数）]の合計と一致するように入力してください。（赤枠④）

【基本診療料届出項目名】

セルを選択し、矢印をクリックすると、予め設定されたプルダウンメニューが表示されるので、算定している基本診療料の項目を選択してください。

【基本診療料届出項目名】が6以上ある場合は区分欄の＋ボタンを押してください。非表示となっている行が展開し、入力できる行が増えます。また、－ボタンを押すと入力できる行が減ります。行を減らす際には、非表示になる行の入力項目が全て消えていることを確認してください。（赤枠⑤）

【入院診療収益（年間）】

【入院基本料等別在院患者延数（年間）】に対応する入院診療収益を入力してください。  
※診療報酬請求書の医療行為の総額に保険外の患者負担分を含む収入（室料差額を除く）の総額になります。

※【入院】における「変更後病床数（期末）」、「在院患者延数（年間）」、「新入院（年間）」、「退院（年間）」の合計欄は、【基本診療料別の内訳】における「病床数」、「入院基本料等別在院患者延数（年間）」、「新入院・転床患者数」、「退院・転床患者数」の合計欄と一致するように入力してください。

区分	病床数						入院患者数							
	病床数 (期首)	うち休床数	会計期間内 の病床数の 変更 (0:無 1:有)	変更時期(西暦) 会計期間内の変更が 「1:有」の場合のみ入力			変更後 病床数 (期末)	許可病床延数 (年間)	在院患者延数 (年間)	(参考) 利用率	新入院(年間実人数)		退院(年間実人数)	
				年	月	日					新入院患者数	転床患者数	退院患者数	転床患者数
一般	150床						150床	54,750床	45,555人	83.2%	2,185人	18人	2,029人	16人
療養	100床	20床	1	2021	年	7月	90床	33,760床	29,333人	86.9%	8人	161人	150人	15人
精神								0床		0.0%				
結核								0床		0.0%				
感染症								0床		0.0%				
合計	250床	20床					240床	88,510床	74,888人			2,369人		2,355人

④

【基本診療料別の内訳】 ※基本診療料届出項目名はプルダウン式でお選びください。各区分において項目が6つ以上ある場合は、+ボタンを押下して非表示となっている行を展開してお使いください。

区分	基本診療料届出項目名	病床数	入院基本料等別 在院患者延数(年間)	入院診療収益(年間)	新入院・転床 患者数(実人数)	退院・転床 患者数(実人数)
一般	急性期一般入院料1	100床	29,000人	957,123,450円	2,203人	2,190人
	地域包括ケア病棟入院料1(管理料)	50床	16,555人	408,908,550円		
	小計	150床	45,555人	1,366,032,000円	2,203人	2,190人
療養	回復期リハビリテーション病棟入院	80床	29,333人	532,942,320円	166人	165人
	小計	90床	29,333人	532,942,320円	166人	165人
精神						
	小計	0床	0人	0円	0人	0人
上記以外の基本診療料						
合計		240床	74,888人	1,898,974,320円	2,369人	2,355人

一致します

一致します

⑤

【加算の状況】

会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください。プルダウンによる入力も可能です。

【加算の状況】

加算の算定状況について伺います。会計期間内に算定した実績があるもの全てに「1」を入力してください(プルダウンによる入力も可能)。

総合入院体制加算1	総合入院体制加算2	総合入院体制加算3	地域医療支援病院入院診療加算	
臨床研修病院入院診療加算(基幹型)	臨床研修病院入院診療加算(協力型)	救急医療管理加算1	救急医療管理加算2	
超急性期脳卒中加算	妊産婦緊急搬送入院加算	在宅患者緊急入院診療加算	診療録管理体制加算1	
診療録管理体制加算2	25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上)	25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割未満)	50対1急性期看護補助体制加算	
75対1急性期看護補助体制加算	夜間30対1急性期看護補助体制加算	夜間50対1急性期看護補助体制加算	夜間100対1急性期看護補助体制加算	
夜間看護体制加算	看護職員夜間12対1配置加算	看護職員夜間16対1配置加算	特殊疾患入院施設管理加算	
看護配置加算	1看護補助加算1	看護補助加算2	看護補助加算3	
夜間75対1看護補助加算	精神科措置入院診療加算	精神科措置入院退院支援加算	精神科応急入院施設管理加算	
精神科隔離室管理加算	精神科病棟入院時医学管理加算	精神科地域移行実施加算	精神科身体合併症管理加算	
精神科リエゾンチーム加算	重度アルコール依存症入院医療管理加算	摂食障害入院医療管理加算	栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算	感染防止対策加算1	感染防止対策加算2	感染防止対策地域連携加算	
患者サポート体制充実加算	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	総合機能評価加算	
後発医薬品使用体制加算1	後発医薬品使用体制加算2	後発医薬品使用体制加算3	病棟薬剤業務実施加算1	
病棟薬剤業務実施加算2	データ提出加算1	データ提出加算2	データ提出加算3	
データ提出加算4	入退院支援加算1	入退院支援加算2	入退院支援加算3	
認知症ケア加算1	認知症ケア加算2	認知症ケア加算3	精神疾患診療体制加算1	
精神疾患診療体制加算2	精神科急性期医師配置加算1	精神科急性期医師配置加算2	精神科急性期医師配置加算3	
薬剤総合評価調整加算	在宅復帰機能強化加算	夜間看護加算	看護職員夜間配置加算(特定入院料)	
地域医療体制確保加算	早期栄養介入管理加算	せん妄/ハイリスク患者ケア加算	精神科退院時共同指導料1(Ⅰ)	
精神科退院時共同指導料1(Ⅱ)	精神科退院時共同指導料2	非定型抗精神病薬加算	院内標準診療計画加算	
精神保健福祉士配置加算	退院調整加算	認知症夜間対応加算	治療抵抗性統合失調症治療指導管理料	
退院前訪問指導料	退院後訪問指導料	診療情報提供料(Ⅰ)	電子の診療情報評価料	
在宅療養実績加算	在宅療養支援病院1	在宅療養支援病院2	在宅療養支援病院3	
在宅療養後方支援病院				

## 【外来】

### 【外来患者延数】

「病院報告」の会計期間12か月分の合計を入力してください。集計方法は病院報告に準じます。なお、通所リハビリテーションの対象者は外来に含まれません。

### 【うち新来患者数】

初診料を算定する患者の年間延数を入力してください。同一患者が異なる傷病により複数の診療科で診察を受け、カルテが複数作成された場合、各診療科の新来患者として取り扱います。

### 【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーション別の実施状況を入力します。DPCおよび地域包括ケアに係るものは、「その他」に入力してください。

（例）利用者50人が、1日3単位のリハビリを年間100回実施した場合（赤枠⑥）

- ☞年間延実施回数：5,000回
- ・年間対象者数：50人
- ・年間延実施単位数：15,000単位

### 【入退院経路の状況】

#### ①入院経路の状況

#### 【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠⑦）

#### ②入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況

#### 【入院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【新入院（年間実人数）】と一致しているか確認してください。（赤枠⑧）

#### 【退院患者数（年間実人数）】

項目に該当しない事例は「その他」に入力してください。

合計が【入院】における【退院（年間実人数）】と一致するように入力してください。（赤枠⑨）

### 【外来】

外来診療日数	294 日/365・366日	外来患者延数	85,580 人	うち新来患者数	8,600 人
--------	----------------	--------	----------	---------	---------

### 【疾患別リハビリテーション】

疾患別リハビリテーションの実施状況について伺います。①基準については、会計期末に算定している施設基準をお選びください。②初期加算、③早期リハビリテーション加算については、算定している場合は「1」を入力してください。⑤年間対象者数については、審人数を入力してください。  
【例】患者1人に対し、1日3単位のリハビリを年間100回実施し、対象患者が50人の場合「④年間延実施回数」5,000回、「⑤年間対象者数」50人、「⑥年間延実施単位数」15,000単位になります。

	①基準	②初期加算	③早期リハビリテーション加算※	④年間延実施回数	⑤年間対象者数（実人数）	⑥年間延実施単位数
心大血管疾患リハビリテーション	1	1	⑥	5,000	50	15,000
脳血管疾患等リハビリテーション	1	1		6,909	884	19,710
廃用症候群リハビリテーション	1	1		24,558	5,046	62,635
運動器リハビリテーション	1	1		1,733	94	1,864
呼吸器リハビリテーション						
その他						
合計				38,200	6,074	99,209

### 【入退院経路の状況】

①入院経路の状況 ※合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院経路の状況	入院患者数 （年間実人数）	入院経路の状況	入院患者数 （年間実人数）
予定入院の患者・院内の他病床からの転床患者	1,009 人	紹介入院	318 人
予定外の救急医療入院以外の入院患者	173 人	その他	15 人
予定外の救急医療入院の患者	854 人	合計	2,369 人

②入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況 ※合計が2. 利用状況【入院】における「新入院（年間実人数）」、「退院（年間実人数）」と一致するように入力してください。

入院前の場所	入院患者数 （年間実人数）	退院先の場所	退院患者数 （年間実人数）
院内の他病床からの転床	193 人	院内の他病床へ転床	176 人
家庭からの入院	402 人	家庭へ退院	118 人
他の病院、診療所からの転院	928 人	他の病院、診療所へ転院	1,418 人
介護施設、福祉施設からの入院	846 人	介護老人保健施設に入所	318 人
介護医療院からの入院	人	介護老人福祉施設に入所	111 人
院内の出生	人	介護医療院に入所	人
その他	人	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	人
		終了（死亡退院等）	168 人
		その他	46 人
合計	2,369 人	合計	2,355 人

【その他】

【⑤救急の状況】

【救急車搬送件数】は、救急車、ヘリコプター等により搬送された患者数を入力してください。

【うち入院件数】は、救急搬送された患者のうち、入院した件数を入力してください。

【⑥手術件数】

年間延べ手術件数を入力してください。手術に該当する診療報酬算定件数のうち輸血以外（Kコードに限る）のものを入力してください。複数のKコードをもつ場合は併せて1件としてください。

【⑧人工透析の状況】

【人工透析収益】は、診療報酬請求の医療行為総額を入力してください。

【療養病床等の状況】

※療養病床入院基本料を計上する場合、医療区分・ADL区分別の在院患者延数を入力してください。

	医療区分1		医療区分2		医療区分3
ADL区分3		人		人	人
ADL区分2		人		人	人
ADL区分1		人		人	人

【新型コロナウイルス感染症関連】

(1)新型コロナウイルス感染症への対応状況について、該当する場合は「1」を入力してください(※受入実績がない場合も(2)、(3)にお答えください)。

新型コロナウイルス感染症患者(疑似症患者含)等の受入の有無	1
-------------------------------	---

(2) 自治体などへ病床確保及び患者受入に係る補助金申請時に提出している、実績報告書等の数値を記入してください。

確保した病床延数	7,300	床	→	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください	
受入患者延数	7,300	人	→	数値が確認できない場合は未記入のうえ、右記欄に「1」を選択してください	
(確保した病床延数のうち、空床となった病床延数)	0	床			

損益計算書に計上された新型コロナウイルス感染症患者の受入等に係る補助金の交付(見込)額	事業収益への計上額	事業外収益への計上額	特別利益への計上額
	408,908,550	円	円

(3)新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いに基づく加算の算定実績について、該当するものに「1」を入力してください。

難病患者等入院診療加算		二類感染症患者入院診療加算	1	二類感染症患者療養環境加算1		二類感染症患者療養環境加算2	
在宅患者支援病床初期加算		在宅患者支援療養病床初期加算		院内トリアージ実施料			

【その他】

※①～④は選択肢からお選びください。⑤～⑧は件数、金額等を入力してください。

①院外処方	2	(選択肢:[0] 無 [1] 全面有 [2] 一部有)	②DPC対象病院の指定状況	1	(選択肢:[0] 非該当 [1] 対象病院 [2] 準備病院)			
③救急告示の指定状況	1	(選択肢:[0] 無 [1] 有)	④医療計画上の救急医療体制	2	(選択肢:[0] 非該当 [1] 一次救急 [2] 二次救急 [3] 三次救急)			
⑤救急の状況	救急車搬送件数		511	件	うち入院件数	382	件	
⑥手術件数	1,050		件					
⑦検診・健診の状況	年間検診・健診件数		5,432	件	検診・健診収益	119,775,600	円	
⑧人工透析の状況	年間延べ実施回数		5,432	件	人工透析収益	168,392,000	円	
	うち入院		2,987	件	人工透析装置の台数		10	台
	うち外来		2,445	件	うち外来	75,765,000	円	

3. 従事者の状況

10月1日時点の状況を入力してください。会計期間内に10月1日が無い場合は、期末の人数を用いてください。

複数施設（事業）で勤務している、または同一施設（事業）で複数の職種を兼任している職員がいる場合は、従事者の重複が生じないよう、勤務時間や人件費等を用いて按分します（詳細は別欄の「従事者の按分について」をご覧ください）。

[調理員]

給食業務を委託している場合（調理員が委託業者の従事者）は空欄にしてください。（赤枠⑩）

4. 委託の状況

業務委託を利用しているもの全てに「1」を入力してください。委託を利用していない場合は【その他・委託なし】を選択してください。

[給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）]・[給食業務（一部委託）]

献立作成や食材の仕入れ等、給食業務の全てを委託している場合は[給食業務（全面委託）＜労務費＋食材＞]を選択してください。調理員が委託業者の従事者の場合は、3. 従事者の状況の[調理員]が空欄となっていることを確認してください。（赤枠⑩）

[労務管理]

給与計算、勤怠管理、就業規則の作成等の業務を委託している場合が該当します。

[会計・請求]

決算業務、介護給付費等の請求等の業務を委託している場合が該当します。

3. 従事者の状況

従事者の状況について伺います。会計期間内の10月1日時点の状況を入力してください（小数点第一位まで）。派遣職員等の常勤換算には業務委託による従事者を含みます。

区分	常勤	非常勤	常勤換算	派遣職員等 常勤換算	区分	常勤	非常勤	常勤換算	派遣職員等 常勤換算
医師	17.8	31.0	8.7		作業療法士	36.5	1.0	0.5	
歯科医師			0.0		言語聴覚士	4.0	2.0	0.1	
薬剤師	1.8	2.0	0.7		視能訓練士				
看護師	122.8	8.0	3.2		義肢装具士				
准看護師	3.0	4.0	2.5		歯科衛生士				
助産師					歯科技工士				
管理栄養士	2.0				看護補助者	32.3	3.0	1.2	
栄養士					M S W ・ P S W	3.0			
診療放射線技師	4.5				介護支援専門員	0.0			
診療X線技師					調理員				
臨床検査技師	5.0				事務職員	24.0	3.0	1.5	
衛生検査技師					その他	5.0	6.0	4.0	
臨床工学技士	2.0				合計	302.7	60.0	22.4	0.0
理学療法士	39.0								

4. 委託の状況

委託の状況について伺います。該当するもの全てに「1」を入力してください（プルダウンによる入力も可能）。

検体検査	滅菌消毒	給食業務（全面委託＜労務費＋食材＞）	1	給食業務（一部委託）	患者搬送	
医療機器の保守点検	医療用ガス供給設備の保守点検	寝具類洗濯		院内清掃	1	医事業務
会計委託業務	その他・委託なし					1

従事者の按分について

1 週間あたりの総勤務時間を分母とし、各施設の総勤務時間を分子として勤務時間の按分を行います。

例：Aさん（1 週間あたりの総勤務時間40時間）が、①特別養護老人ホーム（28時間）、②認知症高齢者グループホーム（8 時間）、③通所介護（4 時間）の[施設長]（管理者）を兼務していた場合。

⇒特別養護老人ホームの28時間÷ 1 週間あたりの総労働時間40時間＝0.7 から、特別養護老人ホームの[施設長] は0.7 になります。

5. 決算の状況

- ・金額は円単位で入力してください。
- ・内訳と合計が一致していることを確認してください。

5. 決算の状況

※施設別の決算書、試算表等を元にご作成してください。なお、貸借対照表については施設別に作成していない場合、入力しなくても構いません。  
損益計算書については施設別の決算を作成していない場合であっても費用の按分等を行って入力してください。

【貸借対照表】

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
現金 及 び 預 金	200,391,123 円	支 払 手 形	0 円
事 業 未 収 金	190,083,228 円	買 掛 金	55,513,344 円
た な 卸 資 産	554,507,422 円	短 期 借 入 金	0 円
そ の 他 の 流 動 資 産	11,926,592 円	1 年 以 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	5,994,911 円
計	956,908,365 円	未 払 金 ・ 未 払 費 用	81,215,432 円
建 物 ・ 構 築 物	740,557,295 円	そ の 他 の 流 動 負 債	0 円
器 械 備 品 ・ 車 両	42,976,974 円	計	142,723,687 円
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	25,163,311 円	医 療 機 関 債	0 円
土 地	263,214,982 円	長 期 借 入 金	721,720,000 円
建 設 仮 勘 定	0 円	長 期 未 払 金	15,000,000 円
無 形 固 定 資 産	0 円	固 定 負債	0 円
(うち ソフトウェア)	0 円	退 職 給 付 引 当 金	0 円
そ の 他 の 資 産	224,669,013 円	そ の 他 引 当 金	20,215,421 円
(うち 長期 貸 付 金)	0 円	長 期 前 受 補 助 金	0 円
計	1,296,581,575 円	そ の 他 の 固 定 負 債	0 円
		計	756,935,421 円
		資 本 金 ・ 基 金 ・ 基 本 金	43,674,000 円
		資 本 剰 余 金	0 円
		純 利 益 剰 余 金 ・ 積 立 金	1,307,154,411 円
		(うち 当 期 剰 余 金)	34,276,328 円
		計	1,350,828,411 円
		他 会 計 調 整 勘 定	3,002,421 円
		(貸 借 相 殺 し て 計 上)	0 円
合 計	2,253,489,940 円	合 計	2,253,489,940 円

【損益計算書】

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
入 院 診 療 収 益	1,898,974,320 円	給 与 費	1,047,042,311 円
室 料 差 額 収 益	77,138,290 円	法 定 福 利 費	109,706,422 円
外 来 診 療 収 益	665,111,098 円	退 職 給 付 費 用	30,612,643 円
保 健 予 防 活 動 収 益	138,666,082 円	役 員 報 酬	44,480,000 円
医 療 相 談 収 益	140,629,103 円	医 業 品 費	431,495,882 円
受 託 検 査 ・ 施 設 利 用 収 益	0 円	そ の 他 の 医 療 材 料 費	1,732,199 円
		給 食 材 料 費	0 円
		事 業 費 用	68,795,813 円
		そ の 他 の 委 託 費	121,667,123 円
		リ ー ス 料	21,138,000 円
		賃 借 料	30,401,000 円
		地 代 家 賃	49,640,000 円
		水 道 光 熱 費	40,604,377 円
		修 繕 費	4,511,597 円
		本 部 費 配 賦 額	0 円
		そ の 他 の 費 用	820,142,491 円
		減 価 償 却 費	116,728,341 円
		計	2,938,698,199 円
		事 業 利 益	129,355,644 円
		事 業 外 費 用	72,195,599 円
		(うち 支 払 利 息)	7,283,811 円
		経 常 利 益	134,985,498 円
		特 別 損 失	22,783,244 円
		税 引 前 当 期 純 利 益	138,651,809 円
		法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	12,066,120 円
		当 期 純 利 益	126,585,689 円

【長期借入金元金償還額の状況】

通常償還分	28,000,000 円
借替一括償還分	0 円
合 計	28,000,000 円